

# 飯能市総合振興計画策定に係る 職員アンケート調査報告書

令和6年12月



## 【目次】

I	調査の概要	2
1	調査の目的	2
2	調査対象者	2
3	調査方法及び調査期間	2
4	回収結果	2
II	調査の結果	3
問1	あなたの年齢	3
問2	あなたのお住まい	3
問3	住みやすさ	4
問4	住みやすさを感じる理由	5
問5	住みにくいと回答した理由	6
問6	人口政策の進め方	7
問7	持続可能なまちづくりに向けて力を入れるべき施策	8
問8	持続可能な行財政運営に向けて優先的に行うべき項目	9
問9	今後10年間で特に力を入れるべき取組	10
問10	自慢できるもの、誇れるもの	11
問11	今後特に取り組むべき課題や施策	12
III	調査票	16

## I 調査の概要

---

### 1 調査の目的

本調査は、職員が抱く本市の課題や将来像、まちづくりへの思いを「第6次飯能市総合振興計画」策定の基礎資料とすることを目的とします。

### 2 調査対象者

飯能市職員（会計年度任用職員を除く。） 603人（令和6年7月1日時点）

### 3 調査方法及び調査期間

(1) 調査方法 電子申請

(2) 調査期間 令和6年7月19日（金）から7月31日（水）まで

### 4 回収結果

(1) 有効回答者数 372人

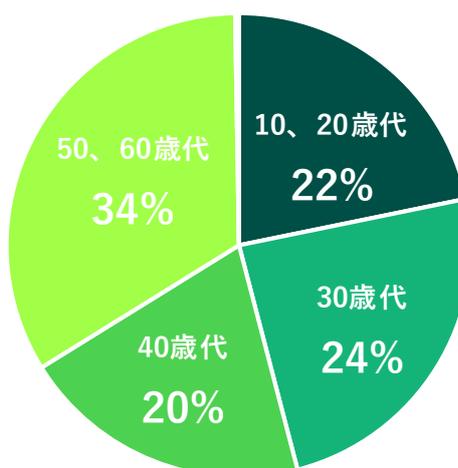
(2) 有効回収率 61.7%

## II 調査の結果

問1 あなたの年齢をお聞かせください。

- 回答者の年代別の内訳は、50, 60歳代、30歳代、10, 20歳代、40歳代の順に回答が多い状況でした。

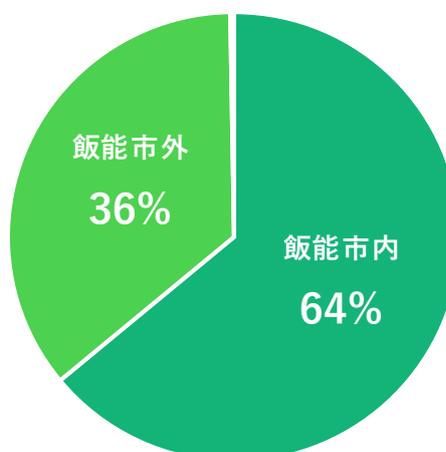
区分	回答数
10、20歳代	81
30歳代	90
40歳代	75
50、60歳代	125
不明	1



問2 あなたのお住まいをお聞かせください。

- 回答者の住まいの内訳は、飯能市内在住者が約2/3、市外在住者が約1/3の状況でした。

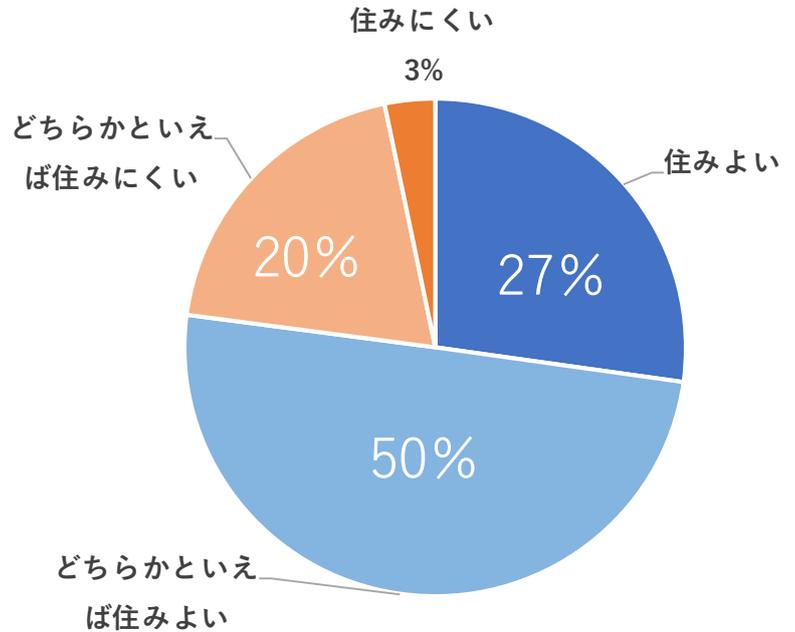
区分	回答数
飯能市内	238
飯能市外	133
不明	1



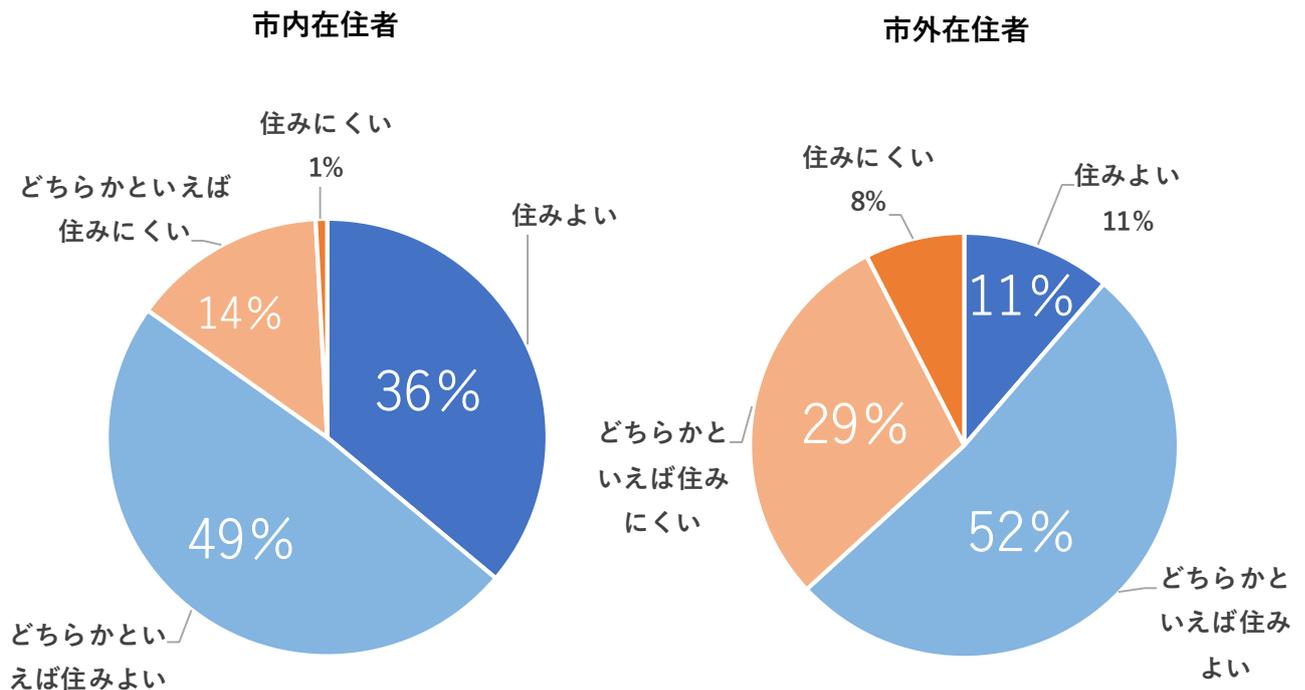
問3 あなたにとって飯能市は住みよいまちですか。

- 回答者の77%が「1. 住みよい」（「2. どちらかといえば住みよい」を含む。）と感じています。
- 回答者の23%が「4. 住みにくい」（「3. どちらかといえば住みにくい」を含む。）と感じています。

区分	回答数
住みよい	101
どちらかといえば住みよい	185
どちらかといえば住みにくい	73
住みにくい	12

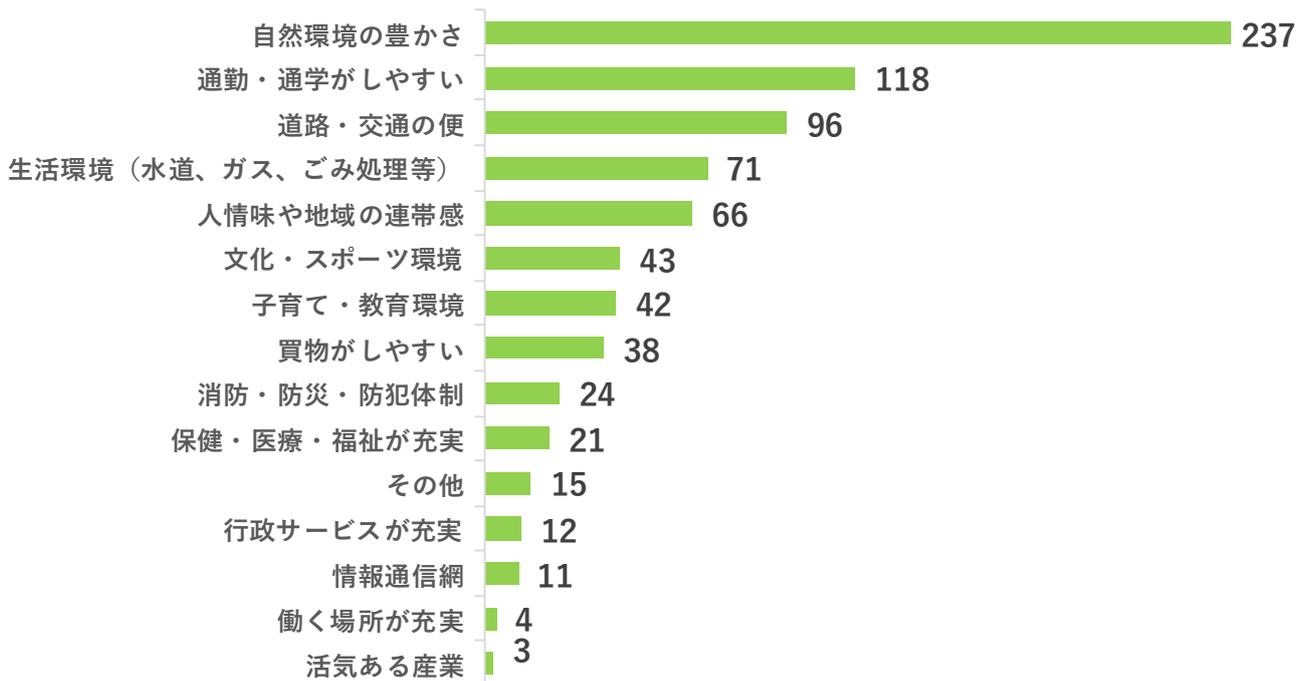


- 「住みよさ」の実感は、飯能市内在住者（85%）が市外在住者（63%）を大きく上回っており、外から見るよりも実際の住みよさの満足度は高いという結果でした。



問4 前問（問3）で「1. 住みよい」または「2. どちらかといえば住みよい」を選択した方にお聞きします。あなたは、飯能市のどのようなところに住みよさを感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 「自然環境の豊かさ」の237件が最も多く、回答者の8割以上が選んでいます。次いで「通勤・通学がしやすい」「道路・交通の便」という回答が続きました。

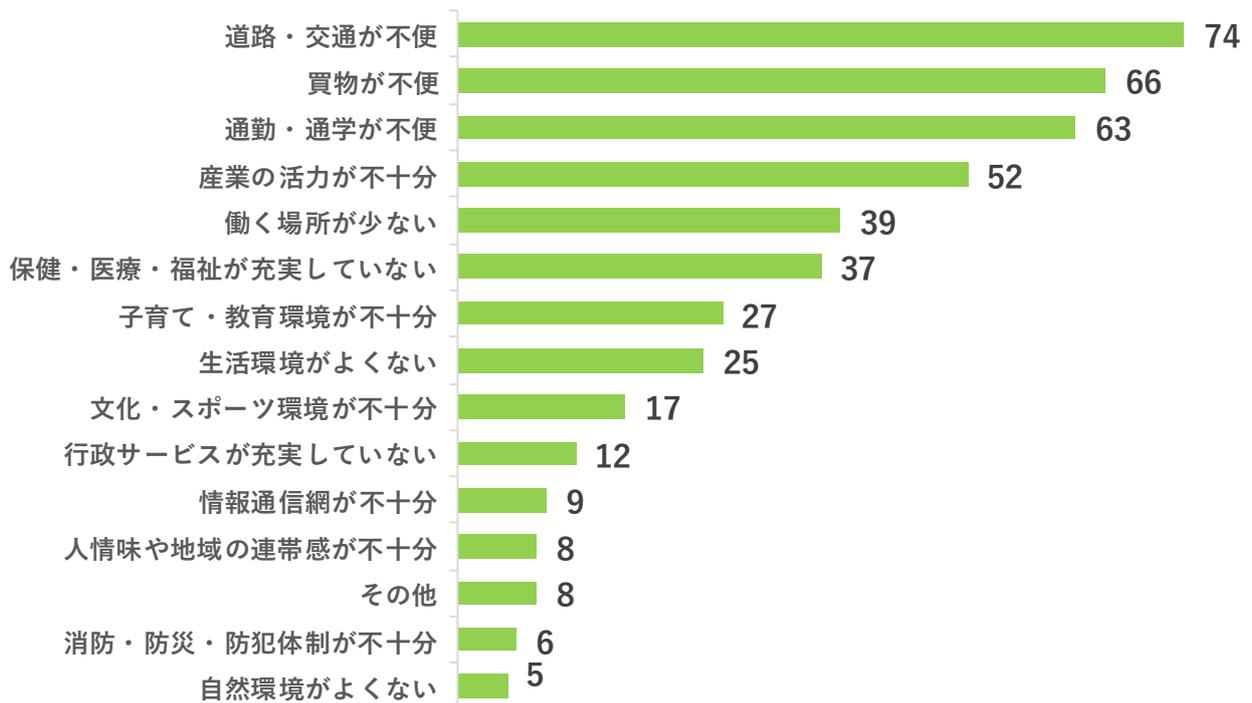


- 住みよさの理由のその他意見では、「地元である」「災害への強さ」といった意見がありました。

- ・ 地元である（生まれた時から住んでいる、住居があるなど）
- ・ 災害への強さ（自然災害が少ない、大企業等も注目する堅固な地盤など）
- ・ その他（趣味がしやすい、飯能ならではの文化資源がある、始発電車がある、人口が多すぎない、市街地は、自然環境と買い物等の利便性の両方を兼ね備えているなど）

問5 前問（問3）で、「3. どちらかといえば住みにくい」または「4. 住みにくい」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

➤ 「道路・交通が不便」の74件が最も多く、次いで「買い物が不便」「通勤・通学が不便」という回答が続きました。住みよい理由の上位項目でもあったことから、回答者の生活圏域によって感じ方が異なっていることが考えられます。



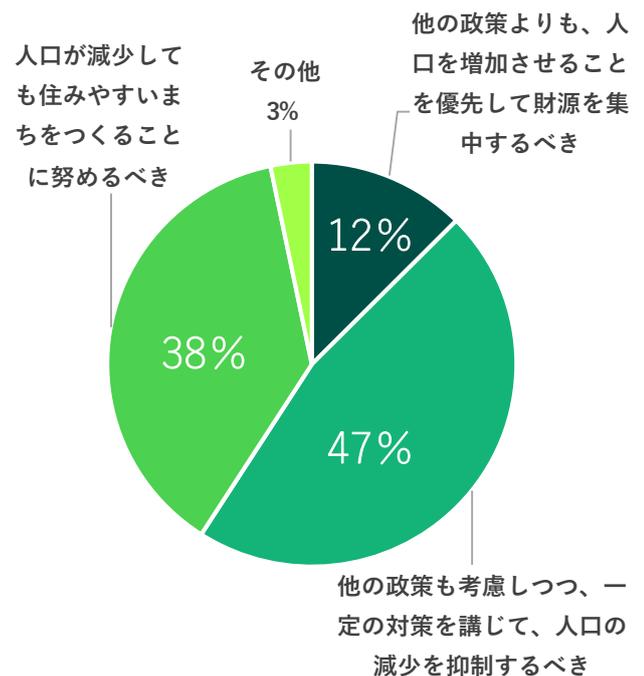
➤ 住みにくさの理由のその他意見では、「中心部と山間部との地域差がある」「公共施設・サービスが不足」といった意見がありました。

- ・ 地域差（生活のしやすさが大きく異なる、地域によっては交通の便や買い物施設等不便さがあるなど）
- ・ 公共施設・サービスの不足（総合運動公園がない、施設の老朽化、歩道が狭い、ごみ収集日が少ないなど）
- ・ その他（独特な価値観が根強く残っているなど）

問6 これからの飯能市の人口政策について、どのように進めていくべきとお考えですか。1つ選んでください。

➤ 「他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口減少を抑制すべき」が47%で一番多く、次いで「人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき」の38%が続きました。「他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中すべき」は12%となっており、人口増加よりも維持・減少を踏まえたまちづくりを進めるべきという意見が多い状況でした。

	10、20歳代	30歳代	40歳代	50、60歳代	計
他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中すべき	14	17	9	6	66
他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき	40	38	37	57	172
人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき	24	33	24	58	139
その他	1	2	5	4	12



➤ 人口政策のその他意見では、「住みやすいまちづくりを実行」といった意見がありました。

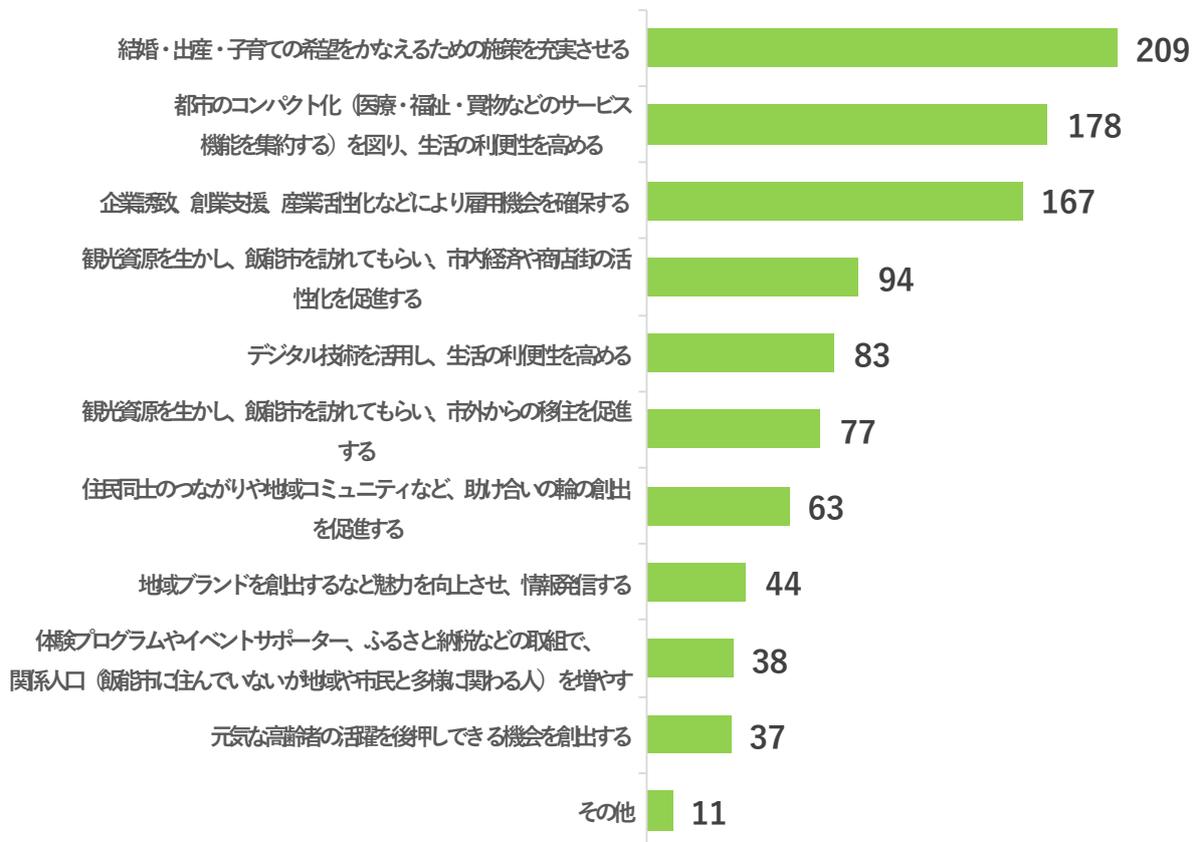
■ 住みやすいまちづくりの実行（人口減少抑制・人口増加）

- ・ 生活がしやすく、住みやすいまちを目指すことで人口減少を最小限に留めることに努めるべき。
- ・ 住みやすいまちづくりをし、分かりやすく発信する。
- ・ 人口が減少しても住みやすいまちづくりをすれば、人口も増加していく
- ・ 魅力あるまちになれば、自然と人は住む
- ・ 人口減少が避けられないことを前提とし、暮らしを維持できる政策を実施
- ・ 医療・福祉・子育て環境の充実（コンパクト+ネットワーク）、子育て環境として学校教育の高品質化 など

■ その他（コンパクトなまちづくり、山間部を山にもどす、近隣他市との合併を再度検討など）

問7 全国的に人口減少期を迎えており、飯能市においても、2050年の将来推計人口が2020年の人口（約80,000人）の20%減となる約64,000人と見込まれています。飯能市はこうした人口減少の予測がある中、未来につなぐ、持続可能なまちづくりに向けてどのような施策に力を入れるべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

➤ 「結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策を充実させる」「都市のコンパクト化を図り、生活の利便性を高める」「企業誘致、創業支援、産業活性化などにより雇用機会を確保する」に関する施策が上位3項目となりました。

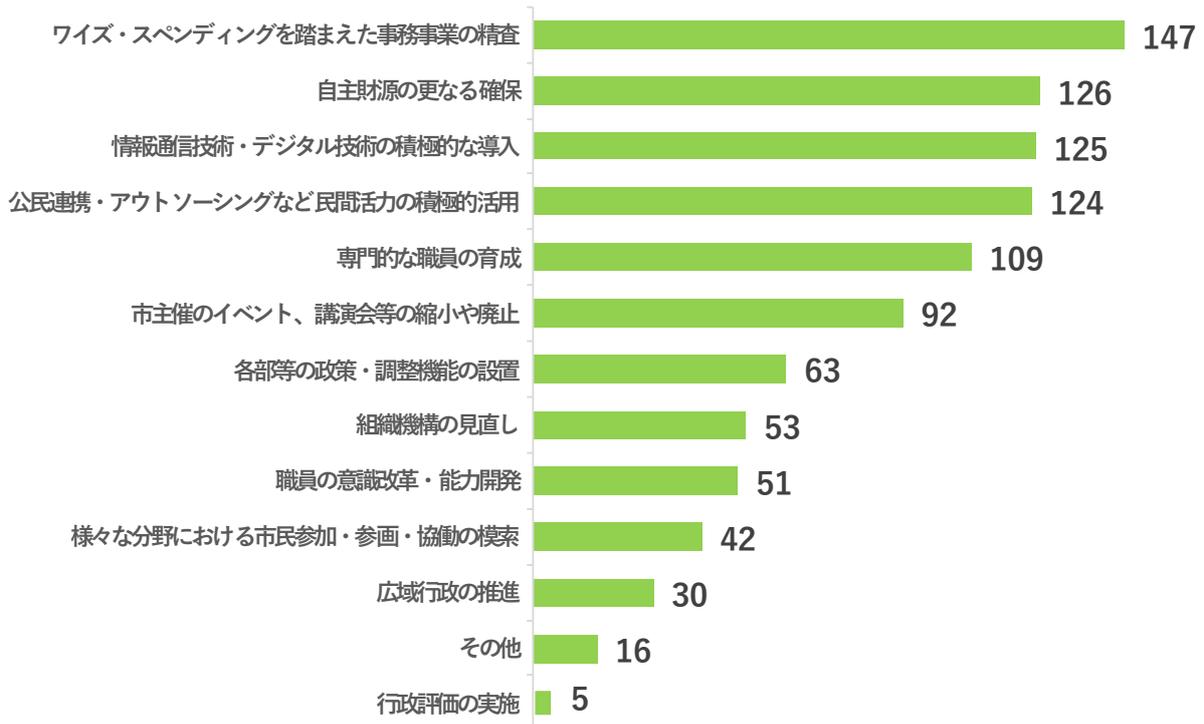


➤ その他意見では、「子育て・現役世代への施策の充実」「地域ごとの施策を実施」といった意見がありました。

- ・ 子育て・現役世代への施策（出産・子育ての手厚い補助、「教育」の充実、現役世代への経済的支援など）
- ・ 地域に関する施策（地域ごとに一律ではなく必要な施策に取り組む、地域住民への負担を最大限減らす、一部の人がしか利用のない公共施設を削減するなど）
- ・ その他（観光資源だけでなく他の交流人口増加ができるものに取り組む、市内を回遊できるしくみづくり、飯能駅付近の用途地域の緩和をして高層マンションが立てられるようにしてベットタウン化を目指す、市域を超えた行政・経済産業・教育等の施策を行う、近隣他市との合併を再度検討など）

問8 あなたは、飯能市の持続可能な行財政運営に向けて、優先的に行うべき項目は何だと思えますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

- 「ワイズ・スペンディングを踏まえた事務事業の精査」が最も多く、次に「自主財源の更なる確保」が続きました。また、「情報通信技術・デジタル技術の積極的な導入」「公民連携・アウトソーシングなど民間活力の積極的活用」など、省力化に係る事項も多く選ばれました。



- その他意見では、「公共施設マネジメント」「業務改善・見直し」といった意見がありました。

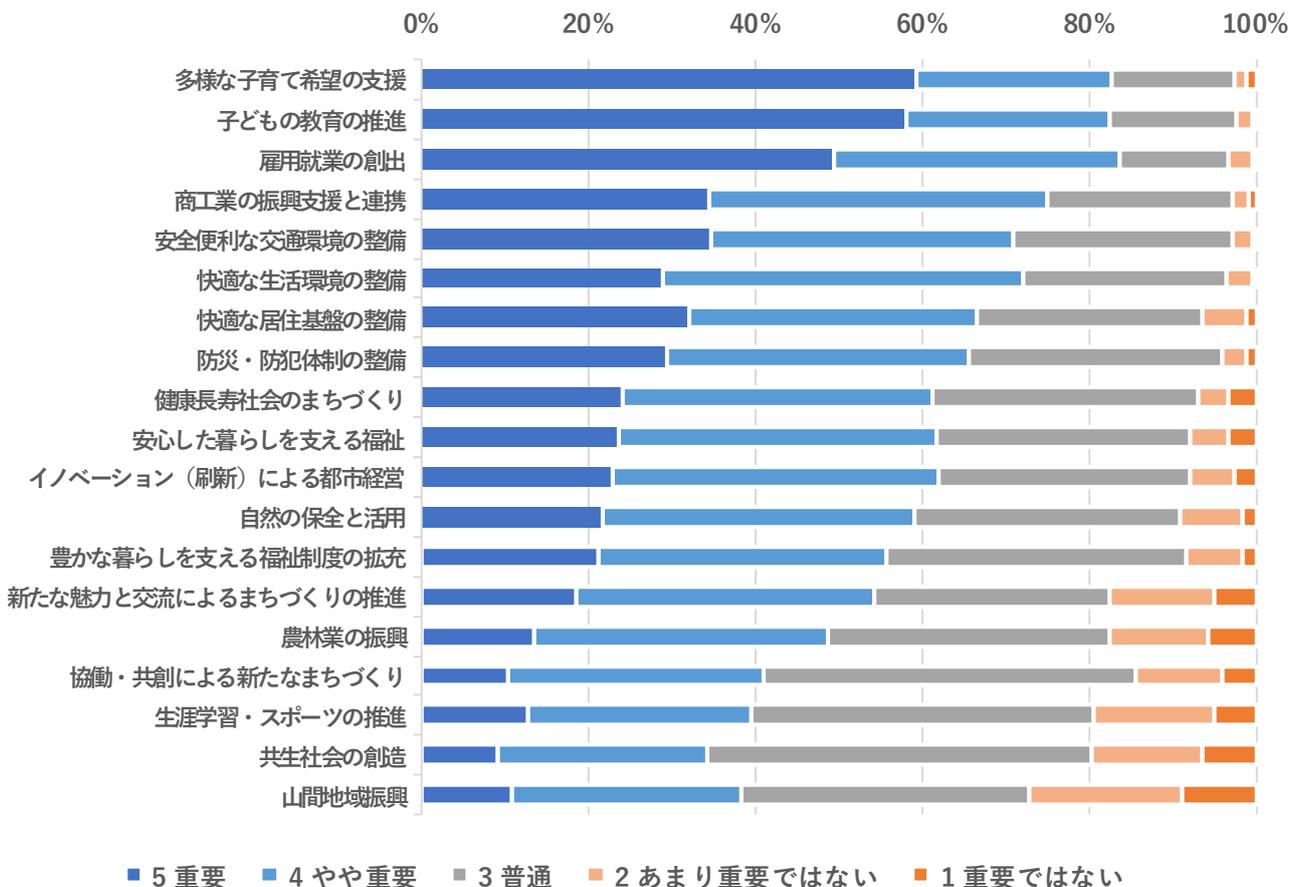
- ・ 公共施設（公共施設マネジメント、アセットマネジメント、老朽化した施設の計画的な修繕と財源確保など）
- ・ 業務改善・見直し（DXを積極的に取り入れる、しっかりとした人員配置を行う、業務整理により職員のワークライフバランスの充実を図ること、意味のない財源支出の廃止、財源の確保、補助金の徹底的な見直し、予算や職員定数配分の裁量権を各部署へ移譲など）

■ その他提案

- ・ 全庁的DX化の推進、真に必要な作成書類の見直しによる業務時間の削減
- ・ 山間地にIT企業を誘致する、芸術家村を作るなど、地形や条件などに無理をさせない活性化策を進める
- ・ 行政サービスへの意見交換、市民参加活動等における幅広い層の取り込み及び協働の担い手の育成など）

問9 あなたは、飯能市が今後10年間で特に力を入れるべき取組についてどのように考えますか。以下の施策について、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んでください。(1~19の施策は、現行計画の基本施策です。)

➤ 「多様な子育て希望の支援」「子どもの教育の推進」の施策が一番重要視され、次いで「雇用就業の創出」「商工業の振興支援と連携」の経済分野の施策、「安全便利な交通環境の整備」「快適な生活環境の整備」「快適な居住基盤の整備」などインフラ分野の施策が続きました。

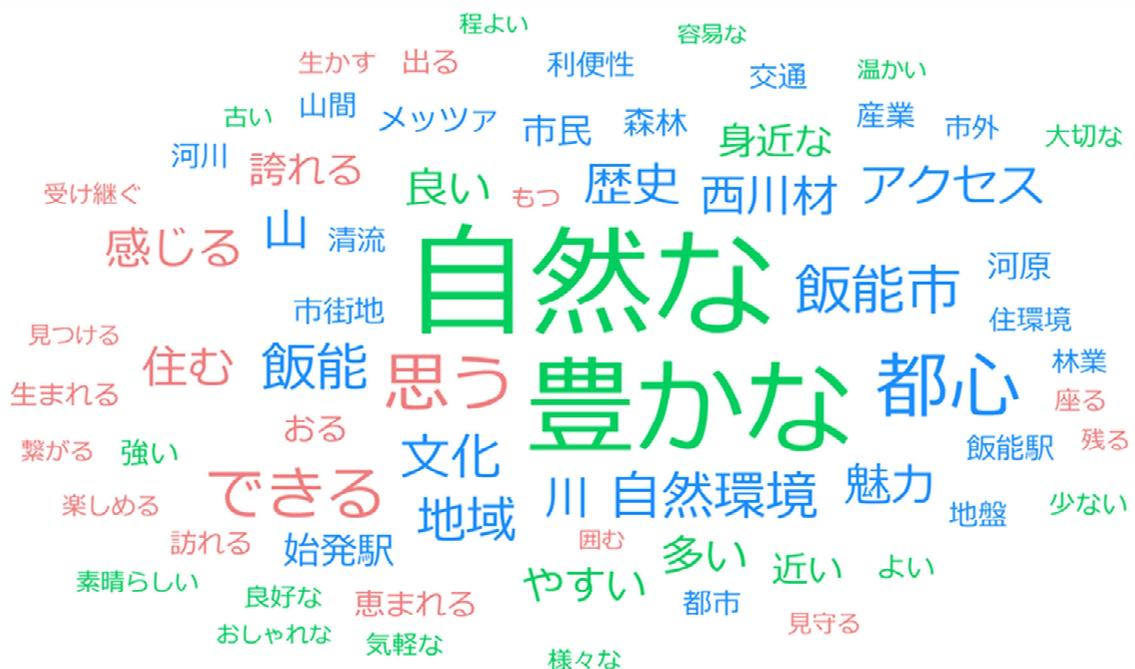


問 10 あなたは、飯能市または地域において、歴史・文化・産業・環境等で自慢できるもの、誇れるものとして何があると思いますか。お書きください。

➤ 自慢できるもの、誇れるものとして回答されたキーワード上位 30 は次のとおりです。

順位	ワード	回数	順位	ワード	回数
1	自然	127	14	魅力	15
2	豊か	75	17	生活	13
3	都心・都内	51	17	祭	13
4	環境	49	19	交通	12
5	川・河原・清流	45	19	子ども	12
6	山	39	19	通勤・通学	12
7	人	26	22	伝統	11
8	文化	22	22	緑	11
9	アクセス	21	24	身近	10
9	ムーミン・メッツァ	21	25	水	9
11	地域	20	25	利便	9
12	歴史	17	27	森林	8
13	地盤・地震	16	28	子育て	7
14	西川材	15	28	観光	7
14	始発	15	28	おいしい	7

➤ テキストマイニングの結果



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 ( <https://textmining.userlocal.jp/> )

## 問 11 今後特に取り組むべき課題や施策（自由意見）

多くのご意見をいただきました。主な意見を分野別にまとめまたほか、文章について要約し、記載しました。

分野	意見等
森林の利活用 (13 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境、山林の保全や活用</li> <li>・ 山間や林業による有効活用</li> <li>・ 森林整備、木材利用に伴う雇用創出</li> <li>・ 山間地域の放置空き家、放置農地・山林の行政指導の強化 など</li> </ul>
企業誘致・雇用創出 (12 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業、工場、商業施設の誘致</li> <li>・ 工業高校の誘致</li> <li>・ 民間事業者が活用したくなる施設や取組 など</li> </ul>
まちなかの活性化・商業施設 (12 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街や商店街の活性化</li> <li>・ 大型商業施設の建設、話題性のある店</li> <li>・ 駅周辺の活性化</li> <li>・ 若者の興味がある商業施設を誘致</li> <li>・ 医療機関の充実、駅前の活性化 など</li> </ul>
子育て支援 (21 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て促進のための具体的な政策、支援</li> <li>・ 授乳室やおむつ替えスペース</li> <li>・ 子育て世代に魅力的な教育の推進</li> <li>・ 子どもが遊ぶことができる公園の充実、メッツァとの連携</li> <li>・ 小児科、産婦人科などの医療機関の充実</li> <li>・ 子どもへの投資、子どもが安心して育つ社会</li> <li>・ 放課後児童クラブの充実</li> <li>・ 大学等と連携した子どもの教育、居場所の確保 など</li> </ul>
教育 (8 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代の教育への投資</li> <li>・ 教育の充実</li> <li>・ 私立高や大学等との連携・協力、</li> <li>・ 教育分野に特化した他市と違う独自の施策 など</li> </ul>
若年層 (9 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い人が転出しない環境づくり、切れ目のない子育て支援や公共交通施設の利便性の向上</li> <li>・ 若年層の経済的支援</li> <li>・ 男性への結婚支援（出会いの創出や活動支援）</li> <li>・ 若者が本市に魅力を感じる政策、魅力発信 など</li> </ul>

コミュニティ (8件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のつながり、関係が乏しい</li> <li>・ 現代にそぐわない文化や慣習の払拭</li> <li>・ 独居高齢者問題の対応</li> <li>・ 防災・防犯対策、高齢者に対応した組織・活動 など</li> </ul>
インフラ (13件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道が狭い、歩道を広げてほしい、山間地域の道路維持</li> <li>・ バリアフリー化</li> <li>・ 上水道、下水道、都市ガスなどライフラインの整備、充実</li> <li>・ 公園の整備</li> <li>・ 市内の駅、図書館、ATM</li> <li>・ 公共施設の老朽化、空調設備などの環境改善 など</li> </ul>
交通手段・アクセス (10件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の生活がしやすくなる交通初段の確保</li> <li>・ 自転車専用道路の新設</li> <li>・ 道路の整備</li> <li>・ 公共交通の整備、住む地域と余暇を過ごす地域の切り分け</li> <li>・ コンパクトシティ化、交通ネットワーク化</li> <li>・ バスの積極的利用 など</li> </ul>
コンパクトシティ (9件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンパクトシティ化、コンパクトネットワークのまちづくり</li> <li>・ インフラの維持管理への計画的な予算配分</li> <li>・ 必要な社会資本の取捨選択と更新 など</li> </ul>
土地利用 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家の処理</li> <li>・ コンパクトシティ</li> <li>・ 市街化調整区域における人口増加への取組</li> <li>・ 精明東部地区の工業団地化の模索</li> <li>・ 区画整理事業を早めに完了</li> <li>・ 聖域なき公共施設の統廃合 など</li> </ul>
観光 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光資源が乏しい。文化面の活用、駅周辺の観光スポットの充実</li> <li>・ メッツァ、ムーミンや北欧の積極的活用</li> <li>・ 山間地域の観光、魅力向上</li> <li>・ 施設の統廃合</li> <li>・ 観光から帰るときに駅前や商店街に立ち寄れるとよい</li> <li>・ 外貨を稼ぐ施策ができるエキスパートの人材育成又は招聘 など</li> </ul>
事業の見直し (24件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業の精査、事業の取捨選択、選択と集中</li> <li>・ デジタル技術を活用したサービスの向上</li> <li>・ 全庁的な事業の見直し、スリム化</li> <li>・ 補助金の見直し</li> <li>・ デジタル化による職員の削減</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協働・共生ということに甘えている、職員の業務負担を減らすことを第一に考える など</li> </ul>
公共施設の最適化 (17件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の統廃合等による適正配置、集約化</li> <li>・ 老朽化に伴うアセットマネジメント</li> <li>・ 各施設の有料駐車場の収入</li> <li>・ 市有地などの売却</li> <li>・ 施設のコンパクト化</li> <li>・ 地区行政センターの統合、民間委託、体制見直し など</li> </ul>
I C T活用・D X (21件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT、デジタル化の推進、ペーパーレス化、AI など先端技術の活用</li> <li>・ デジタル技術の積極的な導入、省力化</li> <li>・ 窓口の開庁時間の短縮</li> <li>・ マイナンバーカードの活用 など</li> </ul>
人材育成・意識改革 (14件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の人材育成</li> <li>・ 職員の能力向上、専門的人材の育成</li> <li>・ 意識改革、働き方改革</li> <li>・ 中途退職の防止策</li> <li>・ 積極的な中途採用</li> <li>・ 課題に取り組む、課題として認識する など</li> </ul>
労働環境の見直し (14件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話自動音声、時間外の電話対応を減らす仕組み</li> <li>・ 時間外勤務の偏りの改善</li> <li>・ 職員の配置の見直し</li> <li>・ 相談業務の充実</li> <li>・ 職員の処遇改善</li> <li>・ イベント規模の見直し</li> <li>・ 開庁時間の短縮 など</li> </ul>
組織体制・庁内連携 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内の連携</li> <li>・ 組織の見直し、統合</li> <li>・ 各種手続が一つの建物で完結できるようにする</li> <li>・ デジタル化の推進</li> <li>・ 職員の自発的な提案を奨励し、施策に反映させる仕組み</li> <li>・ 横断的に、施策を考えられる組織づくり など</li> </ul>
市民への周知 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の財政状況を市民と共有</li> <li>・ 行政ができることを周知 など</li> </ul>
広域行政 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域化、ダイアプラン5市の合併</li> <li>・ 一部事務の共同化 など</li> </ul>

<p>その他まちづくり全般 (21 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口増加に関連する関係人口の増加、まちづくりに取り組むべき</li> <li>・ 自然や図書館、博物館を活用した特色ある教育</li> <li>・ 空き家対策</li> <li>・ 税収を上げる方策を考える、積極的な企業誘致</li> <li>・ まちなか未来ビジョンの実現</li> <li>・ 住環境、住み心地のよさをアピールすることで人口増加を目指す</li> <li>・ 市の魅力を発信し、定住者を増やすとともに二拠点の拠点に選ばれるような自治体を目指す</li> <li>・ シビックプライドの醸成、自分らしく最後まで暮らしていくための施策と、実現のための地域住民との協働</li> <li>・ 総合計画の地域版の作成。各地域の特性に合わせた政策を展開</li> <li>・ 中心市街地の活性化と山間地域の振興の両立、メツツアを拠点とした人の流れを呼び込む施策を加速化する</li> <li>・ 農地と森林のゾーニング</li> <li>・ 交流人口から関係人口（共創人口）へと深化</li> <li>・ 全てにおいての利便性が必要</li> <li>・ まちの住みやすさの意識</li> <li>・ 住んでいる人が安全に、健康に、元気に活躍できる枠組みを市民と一体となつてつくる</li> <li>・ 広い市域の活用</li> <li>・ ソフトなコンパクトシティ化 など</li> </ul>
<p>その他全般的な行政関連の意見・提案 (8 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園に入れにくい、物価が高く賃金も低いという状況がある</li> <li>・ 10 年以上先の超長期的な視点での計画策定、ビジョンが必要</li> <li>・ 企業誘致等で収入を増やす、効果の低い施策は廃止する、新たな行事は最小限にする、民営化（イベント、窓口サービスなど）などし、財源の確保、財政健全化に取り組む</li> <li>・ 民間企業や民間団体との連携</li> <li>・ 公共施設のコンパクト化</li> <li>・ 市が持っている財産を生かす施策を など</li> </ul>

### Ⅲ 調査票

#### 第6次総合振興計画 職員アンケート調査（電子申請フォームで回答）

【問1】 あなたの年齢をお聞かせください。

- |             |          |          |             |
|-------------|----------|----------|-------------|
| 1. 10、20 歳代 | 2. 30 歳代 | 3. 40 歳代 | 4. 50、60 歳代 |
|-------------|----------|----------|-------------|

【問2】 あなたのお住まいをお聞かせください。

- |         |         |
|---------|---------|
| 1. 飯能市内 | 2. 飯能市外 |
|---------|---------|

【問3】 あなたにとって飯能市は住みよいまちですか。 1つ選んでください。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 住みよい          | 2. どちらかといえば住みよい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい        |

【問4】 前問（問3）で「1. 住みよい」または「2. どちらかといえば住みよい」を選択した方にお聞きします。あなたは、飯能市のどのようなところに住みよさを感じますか。 あてはまるものをすべて選んでください。

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 自然環境の豊かさ    | 2. 生活環境（水道、ガス、ごみ処理等） |
| 3. 道路・交通の便     | 4. 通勤・通学がしやすい        |
| 5. 情報通信網       | 6. 消防・防災・防犯体制        |
| 7. 保健・医療・福祉が充実 | 8. 子育て・教育環境          |
| 9. 文化・スポーツ環境   | 10. 活気ある産業           |
| 11. 買物がしやすい    | 12. 働く場所が充実          |
| 13. 人情味や地域の連帯感 | 14. 行政サービスが充実        |
| 15. その他（       | ）                    |

【問5】前問（問3）で、「3. どちらかといえば住みにくい」または「4. 住みにくい」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境がよくない        | 2. 生活環境がよくない       |
| 3. 道路・交通が不便         | 4. 通勤・通学が不便        |
| 5. 情報通信網が不十分        | 6. 消防・防災・防犯体制が不十分  |
| 7. 保健・医療・福祉が充実していない | 8. 子育て・教育環境が不十分    |
| 9. 文化・スポーツ環境が不十分    | 10. 産業の活力が不十分      |
| 11. 買物が不便           | 12. 働く場が少ない        |
| 13. 人情味や地域の連帯感が不十分  | 14. 行政サービスが充実していない |
| 15. その他（            | ）                  |

【問6】これからの飯能市の人口政策について、どのように進めていくべきとお考えですか。1つ選んでください。

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1. 他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中するべき  |   |
| 2. 他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき |   |
| 3. 人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき       |   |
| 4. その他（                              | ） |

【問 7】全国的に人口減少期を迎えており、飯能市においても、2050 年の将来推計人口が 2020 年の人口（約 80,000 人）の 20%減となる約 64,000 人と見込まれています。飯能市はこうした人口減少の予測がある中、未来につなぐ、持続可能なまちづくりに向けてどのような施策に力を入れるべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものを 3 つまで選んでください。

1. 結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策を充実させる
2. 住民同士のつながりや地域コミュニティなど、助け合いの輪の創出を促進する
3. 観光資源を生かし、飯能市を訪れてもらい、市外からの移住を促進する
4. 観光資源を生かし、飯能市を訪れてもらい、市内経済や商店街の活性化を促進する
5. 体験プログラムやイベントサポーター、ふるさと納税などの取組で、関係人口（飯能市に住んでいないが地域や市民と多様に関わる人）を増やす
6. 企業誘致、創業支援、産業活性化などにより雇用機会を確保する
7. 地域ブランドを創出するなど魅力を向上させ、情報発信する
8. 都市のコンパクト化（医療・福祉・買物などのサービス機能を集約する）を図り、生活の利便性を高める
9. 元気な高齢者の活躍を後押しできる機会を創出する
10. デジタル技術を活用し、生活の利便性を高める
11. その他（）



7	生涯学習・スポーツの推進	多様な生涯学習の推進、青少年の健全育成と定住促進、文化・芸術の振興、スポーツ・レクリエーションの推進
8	健康長寿社会のまちづくり	健康まちづくりの推進、地域医療体制の整備
9	安心した暮らしを支える福祉	みんなで支える地域福祉の推進、豊かな高齢社会の創出、障害者(児)の自立と社会参加の促進
10	豊かな暮らしを支える福祉制度の拡充	自立に向けた生活支援、国民健康保険・後期高齢者医療制度・介護保険制度の健全な運営、国民年金制度の安定化
11	防災・防犯体制の整備	消防・救急体制の整備、防災・危機管理体制の強化、防犯のまちづくり、賢い消費生活の実現
12	自然の保全と活用	自然環境の保全と活用、河川・湖等の環境保全
13	安全便利な交通環境の整備	快適な道路網の整備、交通安全の推進、便利な公共交通ネットワークの整備促進
14	快適な生活環境の整備	公園緑地、上水道の安定維持と下水道の整備、暮らしやすい生活環境の整備・保全、廃棄物対策と循環型社会の推進
15	快適な居住基盤の整備	戦略的な土地政策、快適な居住と住宅地の形成、住みよい市街地の基盤形成、地域情報通信基盤の拡充と利便性向上
16	協働・共創による新たなまちづくり	情報共有と市民参画機会の充実、協働に向けた市民活動の支援、新たなまちづくりへの取組
17	山間地域振興	山間地域の持続的な活性化
18	共生社会の創造	男女共同参画社会の実現、人権尊重社会の形成、多文化共生時代の国際交流・都市間交流
19	イノベーション（刷新）による都市経営	持続的発展を導く行政経営、持続可能な健全財政運営、総合力を生かす広域行政・産学官金連携の推進

